



荒井享子
児童養護施設下野三楽園
里親支援専門相談員

昨年度から里親支援相談員として活動させていただいています。子どもにはそれぞれ個性があり、日々の子育ての大変さは里親さんと同じ思いで過ごしていると思います。不安になったり、悩んだり、子どもの笑顔で癒されたり。そんな里親さんに寄り添って一緒に考えられるよう、がんばっていききたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



南部京子
児童養護施設養徳園
里親支援専門相談員

今年度から里親支援専門相談員として活動しています。まだ1年目で、日々勉強の毎日です。里親さんと関わらせていただき、交流会や研修などを通して、私自身もたくさんのことを学ばせていただいています。里親さんや里子さんたちのつながりを大切にしながら、少しでも力になれるよう、一歩ずつ経験を重ねていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



いちご縁文庫

絵本の話

里親支援センターTFCには子育てに関する様々な本を貸出する「いちご縁文庫」があります。今回、大人も感動する絵本を二冊紹介します。

一冊は「おこだでませんように」(くすのきしげのり作・石井聖岳 絵)という絵本です。

家でも学校でも、いつも怒られてばかりの小学校1年生の「ぼく」。習いたての字で一生懸命かいた七夕さまの短冊。「ぼく」の願い事は…？

大人たちが子どもの気持ちに目を向けることもなく、頭ごなしに叱ってしまう事に気づかされる、深く心に残る名作です。我が子への「ごめんね」と愛おしさが溢れる一冊。

そしてもう一冊は「きみのことがだいすき」(いぬいさえこ作・絵)です。森の動物たちの姿が優しいタッチで描かれていて、「上手にできなくてもいい」「みんなと同じじゃなくてもいい」ページをめくるたびに飛び込んでくる言葉は、大人の胸にもじんわりとしみ込めます。忙しい日々ほっと一息、疲れた自分の心にもそっと手渡してあげたい一冊です。

※その他にも「いちご縁文庫」では子どもの養育に役立つ本を貸出ししています。どうぞお気軽にお越しください。

メール会員登録募集中

メールアドレスを登録すると、研修や講演などの案内や、TFCからの様々な情報が送られます。登録は、里親支援センターTFCのホームページの「お問い合わせ」から、氏名、メールアドレス等をお知らせください。



〒320-0065
栃木県宇都宮市駒生町1837-3
tel:028-612-6970
fax:028-612-6971
email:tfc2021@circus.ocn.ne.jp

開所時間:9:00~17:00
定休日:日曜日、月曜日、祝日、年末年始

ホームページもご覧ください



ホームページ: <https://tfc2021.jp/>

HPのQRコード



令和8(2026)年10月

里親支援センターTFC 通信

とちのき Vol.16

栃木県では養育里親を親しみを込めて「とちのきフォスター」と呼んでいます。手のひらの形をした大きな葉を持ち、しっかり根を張り強く大きな木に育つ果木「栃の木」。その「とちのき」と、英語で里親を意味する「フォスター」を組み合わせ、愛情をこめて育てる里親と、その愛情を受け、すくすく育つ子どものイメージを表しています。TFCではこの愛称から機関紙を「とちのき」としました。

一人ひとりの人生のページを共にめぐりながら

ファミリーホーム はなの家 施設長
とちぎ家庭養育推進協議会理事

石川浩子

2009年4月、施設職員として在職中に里親登録をしてから、気づけば17年が経ちました。ファミリーホーム「はなの家」も、まもなく開所13年を迎えます。この間、社会的養護の領域では「家庭養育優先の原則」が明確に示され、大きな転換期を迎えました。図らずも私自身も施設職員から里親へと立場を移し、子どもたちと向き合う日々の中で制度の変化を受け止めてきました。

振り返れば、子どもたちの「人生のページを共にめぐり続ける日々」であり、その都度、私自身の在り方が問われてきたように思います。里親として子どもを迎え、ともに暮らすことは、制度理念を生活の中で形にしていける試行錯誤の連続でもあります。

養育里親の大切な役割の一つに、子どもたちの実親への支援があります。家庭養育が進む一方で、子どもにとって実親との関係が途切れてしまうことは、大きな不安や葛藤につながります。子どもが自分のルーツをどう受け止め、どのように未来へ歩いていくのか——その過程には実親とのつながりが欠かせないことを、これまでの経験の中で何度も実感してきました。

かつて我が家に委託されていたY君は、実親から受けた暴力を「自分が悪いからだ」と思い込み、「どうせ俺なんか」という言葉が示すように自己肯定感が低い状態にありました。そんな気持ちのま

ま過ごしていたとすれば、学校でも家庭でも些細なことがトラブルにつながり、彼にとって大きな負担になっていたのかもしれません。

大学進学を機に措置解除後の生活を見据えたとき、私は、Y君にとって「親」との関係は避けて通れない課題だと強く感じていました。そこで児童相談所と相談しながら、彼が安心して実親と向き合えるよう、気持ちの整理や交流の在り方について一緒に考えていくことにしました。親子関係の再構築は、単に「合わせる」ことではなく、子どもが抱える思いや不安を丁寧に受け止めながら、適切な距離感を探っていく繊細なプロセスです。その過程で彼自身が自らの状況を客観視できたことで、ようやく前へ進むことができたように感じています。

こうした一つひとつの歩みを通して、私は改めて「子どもたちの人生のページをともにめぐり続ける日々」の重みと尊さを感じています。家庭養育が進む今だからこそ、子どもたちが自分のルーツを安心して受け止め、未来へ踏み出していけるよう、里親として果たすべき役割はますます大きくなっています。これからも、子どもたち一人ひとりの思いに丁寧に耳を傾けながら、実親とのつながりを含めた“その子らしい人生”を共に支えていく存在でありたいと願っています。



TFCでは様々な研修会を開催しています。

■「真実告知」はどう伝えるの？■

8月29日、第1回真実告知に関する研修を開催しました。告知は年齢や発達段階に応じた伝え方が必要です。今年度から広く聞いていただけるよう、年2回開催することとなりました。第2回は令和9年2月19(金)開催予定です。お子様を養育中の方はぜひご参加ください。

【参加者の声】

- ・同じ里親同士、かかわって話をしながらのグループワーク、制作はよかったです。
- ・年齢に合わせて段階的に伝え続けていくことが印象に残った。
- ・アンケート調査の結果や具体的なテリングやライフストーリーの作り方や流れを学ぶことができました。実際にわが家に当てはめて考え、少しイメージがつかめたような気がします。



真実告知に関する研修

■新たに子どもを委託された里親さん■

9月19日、新規委託里親研修を開催しました。今年度は子育てのコツについての講座と座談会の内容でした。初めて受託された里親さんだけでなく、2人目を受託された方も参加いただき、日頃の養育について振り返りの機会にもなったようです。

【参加者の声】

- ・ネガティブをポジティブに、リフレーミングの大切さ、参考になりました。
- ・子どもの成長期における段階的な、コミュニケーションの取り方が大事であると思った。
- ・グループ座談会がとても参考になりました。時間が足りないくらい話が盛り上がり楽しかったです。



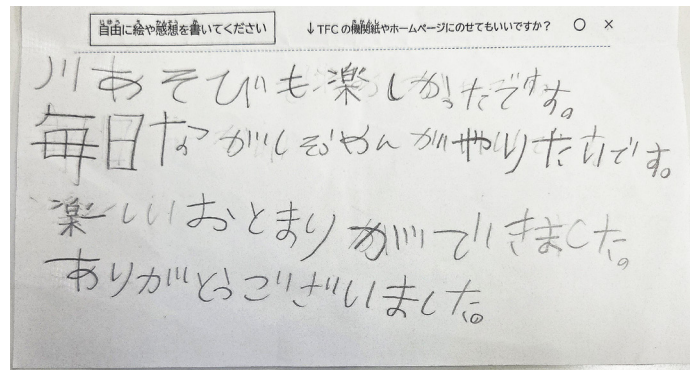
自立支援事業説明会



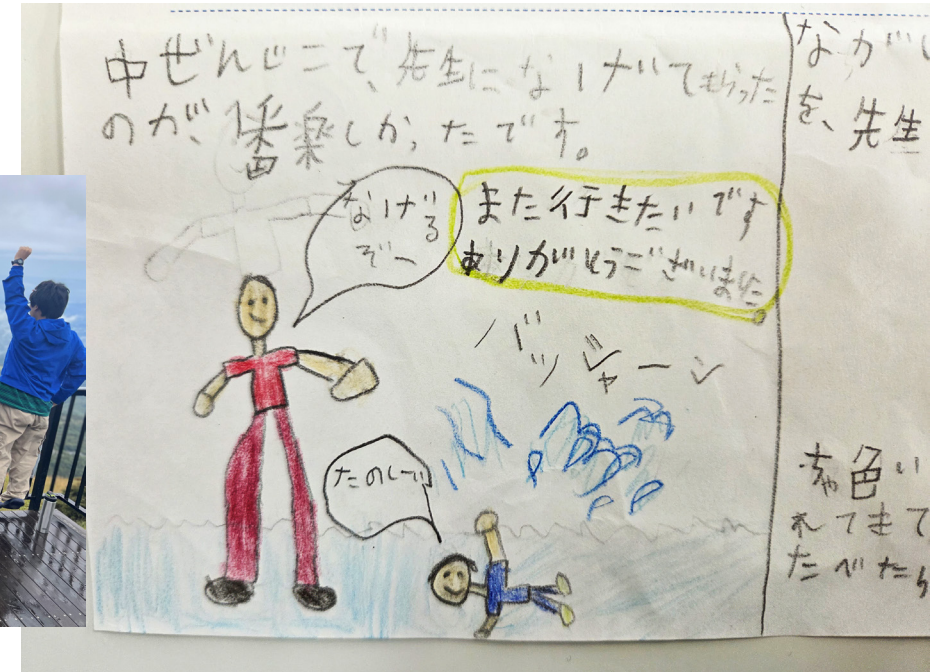
キリフリの階段（天空回廊）
1445段を制覇したぞ～！



水に打たれながらポテトチップス??



■ 自然体験宿泊は今年も大好評でした！！ ■



みんなで作って美味しいね。深夜のラーメン

◆アンケートより

「楽しかった！また来年参加します！バイバイ！」。お迎えに行った時のスタッフの皆様にご挨拶です。初参加だったので、大丈夫かな...という心配が一気に吹き飛ばされました。真赤に日焼けした顔、機関銃のように楽しかったことを話し続ける姿、その後車の中での爆睡...。充実し、大満足の3日間であった事がよく伝わりました。貴重な体験をどうもありがとうございました。

ほっこりエピソード

里親 A・Aさん

「キリフリまであと何日？」と、夏休み1日目から始まるこの日を指折り数えて心待ちにしている様子の我が子。

「夕食のカレー作りの時、みんなが好きな具材を選んで、自分は丸いピザを型抜きしてカレーの中に入れて食べても、何を入れてもおいしいことがわかったよ。」

「3日目の中禅寺湖は、トンボを捕まえたりしながら歩いて行っただけ、少し遠くて疲れちゃったな。着いてからお友達と湖の水草をいっぱい取って、石と砂を使ってケーキ作りのおままごとをして遊んだのも楽しかった～！

その他、たくさんの自然体験をして過ごした最終日。迎えに行き、帰りの車の中で「またいきたい！！」と笑顔いっぱいキリフリの話を聞かせてくれました。



とちのきフォスター 時間外電話相談

毎週 水曜日 17:00～20:00

※養育中のお子さんに関する相談に限ります。

080-8082-2298

お子さんの養育で困っている方、一人で悩まずにお気軽にご相談ください。